

テ
レ
ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

テ
レ
ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

テ
レ
ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

テ
レ
ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

テ
レ
ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

ポ
ー
テ
ー
シ
ヨ
ン

TELEPORTATION

2022.09.23—12.18
Fri. Sun.

Kohei Kobayashi

主催 | 黒部市美術館 [公益財団法人黒部市国際文化センター]
共催 | 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社
助成 | 公益財団法人 花王 芸術・科学財団
協力 | ANOMALY, ARTISTS' GUILD、須原額縁製作所
後援 | 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらいTV、新川コミュニティ放送

黒部市美術館

Kurobe City Art Museum

小
林
耕
平

テレポーテーション TELEPORTATION

小林耕平 Kohei Kobayashi

2022年9月23日(金) — 12月18日(日)

休館日 | 月曜日(但し10月10日開館)、10月11日・12日、11月4日・24日

開館時間 | 午前9時30分 - 午後4時30分(入館は午後4時まで)

観覧料 | 一般500円(400円)、高校・大学生400円(300円)

()内は20名様以上の団体料金

*中学生以下無料 *障害者等手帳をお持ちの方と付添1名無料

小林耕平は、非人稱的でミニマルなモノクロ映像作品を起点として、2007年頃には、空間に配置するオブジェクトや日用品、自身が出演する映像等に表現を展開させます。そして、モノや事象の関係性やその認識についての世界観を問い直し、変革を与えるような取り組みを行ってきました。それは、映像を撮影者に委ねる姿勢、他者の思考に応答する手法、対話者と問答するデモンストレーションにも表れており、作家主体の認識や問いをもざらしつつ、思考の領域を拡張させてきました。

本展では、切り離し、移動し、再度接続するという、概念的なテレポーテーションを通してモノや意味の交換について考察します。地域の風景や文化を題材として制作された作品は、民俗学者の折口信夫のいう「類化性能」という類推能力を足掛かりとして「観覧案内」と「造形指南」を並列に提示します。その二つの観点を行き来する過程で起こるアクシデントやエラーを取り込み、内容はさらに多面化していきます。絵画のこと、地域のこと、世界のこと、外側のこと、そのアナロジーにまつわる広域的なイメージの旅をご提案できれば幸いです。

小林耕平 (1974年生まれ、埼玉県在住)

主な展覧会は、「六本木クロッシング2007: 未来への脈動」(森美術館、2007)、「ビデオを待ちながら - 映像、60年代から今日へ」(東京国立近代美術館、2009)、「14の夕べ / 14 EVENINGS」(東京国立近代美術館、2012)、「あなたの口は掃除機であり、ノズルを手で持つことで並べ替え、電源に接続し、吸い込むことで語る。」(山本現代、2012)、「1974第1部1974年に生まれて」(群馬県立近代美術館、2014)、「パランプセスト 記憶の重ね書き vol.4 小林耕平」(gallery αM、2014)、「あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ」(豊橋会場、2016)、「瀬戸内国際芸術祭2016」(香川県伊吹島、2016)、「小林耕平 × 高橋耕平 切断してみる。 - 二人の耕平」(豊田市美術館、2017)、「あくび・指南」(山本現代、2018)、「ゾン・ビ・タウン」(ANOMALY、2019)、「ぎこちない会話への対応策 - 第三波フェミニズムの視点で」(金沢21世紀美術館、2021-2022)。

テレポーテーション
2022年
ビデオ・インスタレーション(1本のビデオ、オブジェクト)
約1時間30分(予定)
構成・オブジェクト・テキスト | 小林耕平
デモンストレーター | 小林耕平、山形育弘
撮影 | 渡邊寿岳

関連企画

オープニングセレモニー & アーティストトーク

9月23日(金) 14:00-14:45頃

会場 | 黒部市美術館

*展覧会観覧券が必要です。

見て! 感じて! 作品鑑賞ツアー

本展作品鑑賞と、展示作品《テレポーテーション》のモチーフの一つである不動堂遺跡見学と縄文時代の植物と自然素材の編み物体験バスツアー。

10月15日(土)

コース

黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」(集合9:45) → 黒部市美術館(集合10:20) → 黒部市美術館見学 → 朝日町環境ふれあい施設らくち〜の(昼食) → 不動堂遺跡見学 → バタバタ茶体験 → まいぶんKAN見学 & 縄文時代の植物と自然素材の編み物体験 → 黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」(解散16:00頃) → 黒部市美術館(解散16:30頃)

*編み物体験では、カラムシや麻ひもで「小さなプラントハンガー」を作ります。

共催 | 黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

ガイド | 尺戸学芸員(黒部市美術館)

川端学芸員(朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN)

集合場所 | 黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」 [集合時間 9:45]

黒部市美術館 [集合時間 10:20]

参加料 | 2000円(入館料・昼食代・材料費)

定員 | 15名

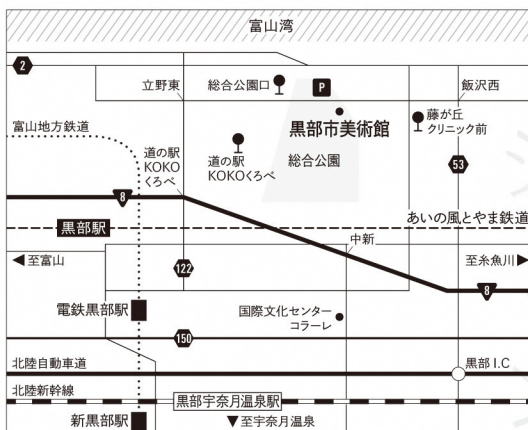
申し込み | 黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

tel: 0765-65-1810

申し込み開始日 | 9月6日(火) | 申し込み締切日 | 10月7日(金)

*グループでのお申し込みの場合2名までとします。

*申し込み後に、詳しくご案内を黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」より郵送いたします。



電車でお越しの方

あいの風とやま鉄道黒部駅から

タクシー 約7分

徒歩 約25分

バス 石田三日市線北ルート(平日のみ) → 「総合公園口」下車して徒歩約5分

生地循環線「道の駅KOKOくろべ行き」 → 「道の駅KOKOくろべ」下車して徒歩約9分

新幹線黒部宇奈月温泉駅から

タクシー 約20分

電車バス 富山地方鉄道「新黒部」富山方面 → 「電鉄黒部」 → 「バス」生地循環線

「道の駅KOKOくろべ行き」 → 「道の駅KOKOくろべ」下車して徒歩約9分

詳細は、黒部市内全域公共交通マップホームページをご参照ください。

<http://www.kurobe-koukyukoutsuu.jp/map/>

黒部市美術館
Kurobe City Art Museum

938-0041 黒部市堀切1035

TEL/FAX 0765-52-5011



下立駅とおおつきま迎え

生地中継 / 源兵サの清水

宇奈月温泉(黒部峡谷トロッコ電車)とジルクン

東山円筒分水槽

僧ヶ岳(電線)

不動堂遺跡と匠屋レブリカ法

魚津埋没林博物館

黒部川河口

下山芸術の森発電所美術館 展望塔

黒部市歴史民俗資料館(栗本製糖模型、お光伝説とゴッホ)